

元茨木市立中津保育所三者協議会（第18回）会議録

1 日 時

平成30年12月8日（土） 午前9時から

2 場 所

てんのう中津保育園

3 案件

- (1) 工事の進捗状況等について
- (2) その他

4 出席者

- ・ てんのう中津保育園保護者
会長 他24人
- ・ 社会福祉法人
理事長 他1名
- ・ 保育幼稚園総務課
山寄課長、中路課長代理、古川係長

5 発言要旨

- (市) それでは定刻となりましたので、始めさせていただきます。
皆さん、おはようございます。
本日は公私、何かとお忙しい中、三者協議会に御出席いただきまして、ありがとうございます。
それでは、これより第18回元茨木市立中津保育所の三者協議会を開催いたします。
議事につきましては、三者協議会の議長であります保育幼稚園総務課長の山寄が進行いたします。
- (市) おはようございます。
早速ではございますが、議事次第に従って進めさせていただきます。
まず、第1件目工事の進捗状況等ですが、ご案内では、進捗状況

等ということで、報告であるかのような表現がありました。遅延についてでございます。そういったことで、ちょっと紛らわしいのではないかというお言葉もいただいており、申しわけありません。今回は遅延についての説明でございます。工事の状況につきましては、法人様から御説明いただけるということですので、よろしくお願ひします。

(法 人) おはようございます。園長の一ノ瀬です。保育園のほうは、来週、発表会を控える中、急遽このような形でお集まりいただきましてありがとうございます。先週、業者のほうより工事の進行のほうにおくれが生じているということで、3月の完成が厳しい状況にあるということを知りましたので、保護者の皆様、それから役所の皆様、お忙しい中、本日は、お集まりいただくこととなりました。本当にありがとうございます。

以前より三者協議会のほうも通じて、3月の完成、新園舎完成に向けて、進めていただくということと、それから、5歳児の卒園式については、新園舎でと、お話をさせていただいてはすけれども、それも厳しくなっているということで、4月から卒園児対象の学童保育も初年度からお申し込みいただきました皆様もおられ、大変御迷惑をおかけすることとなってしまいまして、本当に申しわけありません。工事の進捗状況につきましては、この後、業者のほうより、細かな説明をさせていただきます。

以上です。

(法 人) そしたら、私のほうからちょっと工程のほうを簡単に御説明させていただきます。皆さんのお手元に配らせていただいています、このカラー刷りの冊子を見ていただきますでしょうか。両面印刷しておりますけれども、白黒の裏側がもともとの工程になっております。白黒のほうの工程からまず説明させていただきますと、もともとの工程で言えば、2019年の3月に一応工事としては、建物ができ上がる予定で、仮使用という許可をとって、園舎を運営していくというような工程を立てていたんですけれども、ただ3月末に園舎には入れるんですけれども、園庭等の整備が残りますので、完全に仕上がるのが、6月中旬ぐらいのイメージで、計画をしておりました。この資料ひっくり返していただいて、カラー刷りのほうになりますけれども、これが現在の工程と将来の予測という形になるんですけれども、一番上に書いておりますように、自然災害が、皆さんも御存じのように6月、7月、9月と、6月には大阪の北部の地震、そ

れと、7月には、西日本豪雨、9月に台風21号というふうには、3回も連続してやってきておりますので、非常に工期に関しては、そこら辺の影響を大きく受けてるといような状況になっております。結論から申しますと、3月末に、園舎を利用できるような工程が、現在では5月の末、6月の上旬というような形での工期の流れになっております。

ただ、まだ時間がありますので、我々努力をして、これからも短縮をしていくようには考えているんですけども、現在の見込みとしては、5月末のオープンという形になる予定です。

あと、園庭の整備とか、仮設の園舎の撤去等ございますので、それが約3カ月かかって、完全に仕上がるのが、8月の末、9月の上旬という形になっております。

なるべく工期としては短縮するようには、我々も努力していたんですけども、たび重なる自然災害等ございましたので、現在のようにおくれた工期となっておりまして、皆さんに非常に御迷惑をかけたことを深くおわび申し上げます。

それでは、具体的な詳しい遅延原因のほうを工事の担当しております、三田工務店のほうから御説明させていただきます。

(法人) 工事担当の三田工務店の栗田と申します。今から、工事遅延の経緯について御説明させていただきます。まず、6月の段階で、地震が発生して、茨木市内甚大な被害を受け、応急対応等に人手をとられ、なおかつ、下請業者、被害も受け、工事の中断やむなくなったので、着工が1カ月ほどおくれました。

その後、7月の西日本豪雨とか、9月の台風等で、ここの現場も仮囲い、全部吹き飛ばぐらいの被害を受けまして、近隣の家屋にも損害を与える事故が発生しました。それによって、台風のときの停電で、当初予定していました杭工事の、杭の製造の工場が停電しまして、それで納期のほうが1カ月ほど遅れました。それが、1カ月ほど遅れた原因になっております。

その後、皆さん御存じのとおり東京オリンピックがありますので、鉄骨工事の、鉄骨の材料、特にボルト、鉄骨と鉄骨をつなぐボルトの入手が全然できませんで、今、頼んで半年後というぐらいの納期がかかってしまっております。なので、鉄骨工事のほうも、今、若干おくれておりまして、最終的な工期が、今のような工期の状態になっております。

何とか、一応5月末の完成目指して、頑張っておりますので、な

るべくそれよりも前倒しできるように、今、人を入れて、工事をやる予定で動いております。ですが、今の段階では、5月末という予定でしか、今ちょっとお話しはできません。

申しわけございません。

(法 人) すみません。三田工務店の代表取締役をさせていただいてます三田と申します。本日は、師走のお忙しい中、三者協議会に出席していただきまして、誠にありがとうございます。

今、弊社の工事担当の栗田からご説明させていただいたとおり、いろいろな災害であったり、また、材料の受け入れなり、材料の納期等の重なる悪影響というのがありまして、このような形で皆さんにおわびするような形になりまして、本当に申しわけなく思っております。ご理解とご協力のほど、お願いしたいと思ひまして、集まっていたいただきました。本当に申しわけございません。どうぞよろしくお願いいたします。失礼します。

(市) ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か御質問がありませんでしょうか。

(保護者) すみません。いいですか。

(市) はい、どうぞ。

(保護者) 先ほどの東京オリンピックの影響で、ボルトがおくれているというお話ありましたけども、東京オリンピックって、前々から決まっていたものなので、特に工期の遅れとは、リンクしないんじゃないでしょうか。

(法 人) ボルト関係をほとんどスーパーゼネコン、大きなゼネコンが全部押さえてしまっているんです。

(保護者) それを見越して、もともと。

(法 人) 見越して、もともと6月に発注はしてるんですけども、入ってきたのが、11月なんです。

(保護者) わからなかったんですかね、事前に。

(法 人) ボルトって、もともといつもあるものなんですよ。特に、気にかけてするもんじゃなくて、いつもあるもんなんですけども、台風の後には、要は、金属片ですね、鉄板とか材料も同じようなボルトの材料が使われてるんですね。あと、車の部品でも同じボルトの材料を使いますんで、そっちのほうへみんな流れてしまって、建築のほうは、結局、最後のほうに回ってくるんです。なので、もともとオリンピックでない状態の中で、台風によって、その材料も取られてしまう。で、結局、こっちに回ってくるのが、最後のほうになってしまうん

で、納期がかかってしまうということなんです。

(保護者) そのオリンピックと台風が複合して、遅れていったということですか。

(法人) そうです。はい。

(保護者) すみません。

(市) はい、どうぞ。

(保護者) 自然災害がいろいろあったのは、承知してるんですけど、先月の段階までは、間に合うように進めてるってことで、私、卒園年度の子供がいるので、周りに聞いても、学童もすごい悩んだりしたんですけど、急に先月から今月の間で、遅れるっていうことがわかった、それまでは、全然そういうつもりではなかったということですか。

(法人) そこまでは、一応挽回できるかなと思ってたんですけど。

(保護者) 見込みはあったと。

(法人) はい、見込みはあったんですが、見込みがちょっと甘かったっていうのもあります。

(保護者) すみません。

(市) はい。

(保護者) 台風とか、そういう自然災害で、ここの工事の人たちが、ほかの現場に行ってしまったっていうことなんですけど、それはやっぱりそっちが最優先ということなんです。こっちの工期よりも。

(法人) いや、いや、そういうわけじゃなくてですね、もともとこっちの工事は、人的な影響はないんですけどもほかの製造ラインですよ、そっちのほうが、メーカーとかそういうのが、台風のほうにシフト、ウエートを置きだしたんで、本来の建築のほうの工程のほうに、人手が薄くなったということ。工事自体は、そうではないですけども、製造ラインの段階で。

(保護者) でも、工事は、とめることなく進んでいた。

(法人) そうです。

(市) ほかにありませんか。

(保護者) いろんな自然災害は、いたし方がないことなので、ある程度は、遅延は覚悟してたことだと思うんですけど。これで一応、この予定で行きますと、今ですと2カ月ぐらい遅れてしまうと。じゃあ、これをほんとに、ここからさらに自然災害があるんやったらね、それはまた、ある程度ちょっといたし方がないっていうふうに思うところもありますけど、その自然災害がなかったとして、そしたら、じゃあ、もう大丈夫よっていうのを一応、ここはほんとにもうおしま

いって言うふうに思っても大丈夫なんですか。

(法 人) はい。

(保護者) で、私たちがやっぱり心配してるのは、またしばらくしてからずれますよとなって、やっぱりこの自然災害以外の理由って、それは、どうなのかなって言うふうに思うところになると思うんです。で、こうって2カ月過ぎてくると、本当は春から新園舎が良かったんですけど、でも、それはまあ仕方がない。もう絶対無理になってしまってるし。土日もやってくださってるのわかってるのをみんな見てるので。

(法 人) はい。

(保護者) すごく急いで、すごく頑張ってくれてるっていうのは、わかるんですけど、じゃあ、もうここでおしまいとなったら、じゃあ、少なくとも絶対、プールの期間には、絶対ひっかかりませんねみたいな。プールは、じゃあもう新しいプールで、絶対いけるよねっていうふうに、思いたいところがあるんですね。園庭が使えないので、公園遊びが2カ月ぐらいずれます、けどそれはもう少しの辛抱。だけど、今年は通常の年と違うので、水遊びはあまりできなかったから、そこには絶対影響がないよっていうふうに思いたんですけど。その辺は、自然災害以外の理由では絶対大丈夫っていうふうに言い切れるようにはなりませんかね。自然災害は、起きたら仕方がないと思うので。

(法 人) はい。一応5月末で上げる努力をと。ほんとは言い切らないといけないんですけど。

(保護者) プールはね、6月からしかないから、あれですけど。

(法 人) あ、プールまでには絶対、もうできるようにはします。

(保護者) プールとかの季節には絶対と。

(法 人) そうですね。はい。大丈夫です。

(保護者) すみません。

(市) はい。

(保護者) いろんなその資材の遅れがあったってことなんですけど、今現在は、全て確保はできているということですか。

(法 人) 今は一応、確保は、できています。はい。

(市) ほかにありますか。

(保護者) 園長先生が、このお話を聞かれて、どういうふうにお思いになられたんでしょうか。

(法 人) はい、保護者の方にもずっと子供たちにも3月には新園舎につて

ことで、私も ずっとそう思っていますし、今も、何とか頑張っていただけで、工期が5月についてというお話はあるんですけども、何とか、たとえ 1 週間卒園式をぎりぎりまで延ばしてでも、新園舎のほうで、当初の思いどおりできればいいなというふうに、今でも思っているんですが、そうは言っても、現実問題として、かなり厳しいということをおっしゃっていますので、対策として、ほかのことを考えていかねばならないということで、はい。

(保護者) 行事に関しては、もういろいろと園のほうで、お考えになられたものを、今日お伝えしてもらえるとというようなことなのでしょうか。

(法人) そうですね。決定事項としては、お伝えできないですけども、策として、職員と考えたってということで、お伝えはさせていただきますと思っています。はい。

(市) ほかにありますか。

では、この工事の進捗ですね、皆さんご理解いただけたということで、それでは、次に、案件二つ目、その他についてでございますが、何かございませんでしょうか。

(保護者) 園のほうから、今後のその決定事項ではないけれど、こう考えるとかっていうこととか、あと、保育課としてこちらの園と市のほうとしての対応で、どういうふうにしていくのかっていうこととか、ここが遅れることで、多分、ここ新しい園舎になったら、受け入れの人数とかも増やして対応するとか、そういうことは考えておられると思いますが。

(市) そうですね。

(保護者) そうなると、今、募集してる人の中からは、落ちてしまう可能性がありますね。ここの広さでは、対応し切れない人数ですから。そういった場合の対応をどう考えていらっしゃるかっていうことをお聞かせ願いたいです。

(市) はい。では、市のほうの考えといたしまして、こちらのほうの申し出をいただきまして、検討ですね。法人さんのほうでも検討等いただきまして、できるだけ多くのお子さんをこの中で、もしくは、どうにかして受けてもらえないかというところも、今、申し入れをしている状況で、これで一斉受け付けをして、当初の増員になるお子さんの受け入れをというところ、この辺は、検討していただいているところではあるんですが、市といたしましては、定数を越えた受け入れを、当初の約束だからということで、受けていただくというのは、困難な状況かなと思っています。ただ、できる限り、法人さ

んのほうで、御努力いただいて、その中で入っていただけける方という人数を確保して、年度途中でも増員ということで、受け入れというのは可能である状況にはなると考えております。そこは、完成してからは、きちんと受け入れていただこうと思っておるんですけども4月1日の入所に関しましては、当初の予定どおりではなくて、最低今受け入れていらっしゃる人数、その他、法人さんの努力で、受け入れていただけるような部分。先生方のことはきちんと法人さんのほうで体制を整えていただいているということも聞いておりますんで、あとは場所ですね。そういう広さというのが、きちんと確保できれば、そういったことも対応可能なのかなど。今、この状況で、入所決定を打つというのは、かなり困難な状況ではあると考えております。

(市) では、法人さんのほうから。

(法人) はい。2点、学童保育についてと、それから、卒園式について、お話をさせていただきたいと思っております。

学童保育については、8名の方に、お申し込みいただいております。私どもの方から、4月1日より開設いたしますので、皆さんのほうにお勧めさせていただいた中で、急遽4月1日の受け入れというのが、場所が、まず確保できないということで、急遽お申し込みいただいた皆様には、公立の小学校のほうの学童にお申し込みのほうを再度していただくということで、お願いいたしました。園舎のほうが完成して、もちろん学童保育室のほうも設けておりますので、その時点で、途中からでも中津の学童保育室のほうに御入室いただく意思がございましたら、もちろん園としては、受け入れさせていただきたいということで、お伝えさせていただいている状況です。

卒園式につきましては、先ほども申し上げましたが、予定では、3月23日の土曜日、卒園式を予定しております。1週間ですが、それを延ばすことによって、30日、1週間延ばしてでも、もし新園舎のほうが入れる状況にあるならば、そちらのほうも望んではいるんですが、厳しいという状況であるならば、ほかの場所をとということで、検討しております。ほかの場所と、今、お伝えしたんですけども、私としましても、担任の思いとしましても、従来よりてんのう中津での卒園式は、すごくアットホームな形で、在園児代表で、4歳児が送り出してくれて、そして、保育でお預かりしているお子さんたちもいるんですけども、子供たちが、最後、たいよう

組さんを送り出してくれるっていう形を取ってきておりましたので、できれば、ここの仮設園舎、狭い中ではありますけれども、ここの生活を子供たちも楽しんでできてきてくれていましたので、ここで、卒園式を開催することが、一番望ましいのではないかというふうに考えております。

ただ、お誕生日会とか、ここのお部屋を使ってやらせていただいているんですが、生活スペースでありますので、もちろん、保護者の方のお考え等も聞かせていただいて、生活スペースの中で、そういった式典を行うのではなくて、きちんとした形での場所が望ましいのではないかという御意見もありましたら、そちらのほうもあわせて再度検討し直したいと思っております。場所の候補としましては、中津のコミュニティセンター、それから、立命館大学のフューチャープラザというところがあるんですけども、そちらのイベントホールあるいは、もう一カ所、カンファレンスホールというところがあるんですが、今、押さえさせていただいている状況です。

私としては、できるだけここの園舎で、卒園式をとという考えでおります。以上です。

(市) 市のほうも、申しましたように、大切なお子さんをお預かりするのに、当初の約束であったからといって、無理に詰め込んだりとか、そういうような考えはないです。

また、今、法人さんのほうからも説明ありましたように、この現状で何か代替案ですね、今検討されております。そういったところで、何か御意見等ありましたらと。

実は、この会の開催時期に当たりまして、私どもも1週間前に教えていただきまして、できるだけ早くこの状況を皆さんにお伝えしないとというところで、もうちょっときちんと周知の期間を置いて、説明すべきなのか、今週内に喫緊で行うべきなのかということもあったんですけども、市といたしましても、実は今日から、学童の一斉受け付け等もありますので、できるだけ早く、既に申し込みされてる方には、直接御説明いただいているというところですけども、このような早い時期に、開催させていただくこととなりました。

今、園のほうから、御提案ありました代替案については、皆さんから何か御意見ありますか。

(保護者) すみません。今、案を教えてくださいんですけど、それは最終的にどうやって。今、先生はここがいいとおっしゃっていただい

たんですけどやっぱり、ここが良くないと思われるたくさんおられると思いますし、どうやって最後は、三つぐらい予約して下さったっておっしゃってましたけど。

(法 人) そうですね。先ほどちょっと、お伝えできてなかったんですけども、立命館のフューチャープラザのほうとなりますと、ちょっと距離的にも離れますので4歳児を連れてってという形は、無理かなと思っております。

中津のコミュニティセンターにつきましては、発表会でも利用させていただきますので、お散歩のコースでもあるってということも考慮して、4歳児の参加は、ぎりぎりできるかなというふうに思っておりますので、そういったことも全部あわせもって、たいよう組の保護者の方にも、今日御参加でない方もおられますので、一応お伝えさせていただいた上で、今日いらっしゃってくださっている方の中でも、御意見を頂戴して、園としても、担任の気持ちというのも十分含めて考えたいなというふうに思っています。はい。

(市) 園のほうから、今、申し上げましたので、今日ここで何か御意見いただければ、園の参考になりますので、何か意見がありましたら。

(法 人) 具体的にこういった場所もありますよということであれば、可能かどうかは別として、教えていただけたら、また、当たってみることもできるかなと思います。

(保護者) 学童なんですけど。

(法 人) はい。

(保護者) 8月から入れないから、どこかほかの場所を借りてやるとか、そういうこと全くないということですか。

(法 人) そうですね。今回、学童保育課のほうにも、御相談させていただいて、正直、ほかの場所を借りての開設っていうのも、考えてはいるんですけども、公立の小学校の申し込みが、この12月7日から始まってましたので、急遽子供たちがどこでも入れない状況をつくるわけにはいかないの、お申し込みのほうをまずはということで、お願いしております。場所に当たっては、近くで、どこかあればそれも4月1日の開設に向けてということで、考えてはいきたいと思っています。現段階では、まだどこも見つけれられてはいないです。はい。

(保護者) すみません。卒園式の候補日で、中津コミセンとか、立命館のほうって言うってたんですけど、それは3月の23日を。

(法 人) そうです。はい。

(市) はい。どうぞ。

(保護者) どの学年も、実際はそうだと思うんですけど、実際やっぱり4月、新年度から新校舎は難しいってなったときに、ほかの学年だと、ちょっと何月から新校舎にお引っ越しになるよとか、ちょっと遅れるよっていう説明になると思うんですけど、たいようさんに関しては、もしも全く新園舎にも入れないんだよってなった場合、最終的にどの時点で、子供たちにどういうふうに先生のほうから説明があるのか。ちょっと、お伺いしたいんですけど。

(法 人) そうですね。甘い考えなんですけども、正直、私も本当にぎりぎりまで待って何とかなるもんなら年長の子供たちにももちろん新園舎にという思いがありますので、余り早い段階で入れないってことは、伝えることはできないと思います。はい。

卒園式のこともありますので、そのときには子供たちには話していかなければならないなというふうに思っています。たいよう組の子供たちが、全く新園舎に入れない状況で、卒園をしていくということが、決定した場合には、卒園後、子供たちに新園舎をお披露目という形で来てもらって、新園舎のほうも見てもらいたいなというふうには、職員と話しているんです。はい。

(保護者) ぎりぎりまでその話をしないということですか。

(法 人) はい。

(保護者) それは、私たちからも入れないよっていうことを言ってはいけないということですか。子供たちは、やっぱり親の会話とかも聞いてますし、何かしらちょっと気づいてるところが、もしかしたらあるかもしれないし、私も今日帰ったら、やっぱり入れへんてことを言ってしまうとか言うと思うんですよ。そこを、聞いている子、聞いてない子っていうのは、いてるかとは思いますが。そこは多分、親は、入れないんでねえみたいな感じと言ってるところもあるかもしれないし、言うとは思いますが。ということもあるし、まあ、私はもう伝えますって感じなんです。もう入れないって、完全にわかってますよね。入れるかもしれへんっていうことは言うかもしれないですけど、家の会話の中で、子供たちに知られるということもあるかとは思いますが。そこをどういうふうに、子供は受けとめるかわからないんですけど。

(法 人) そうですね。隠しててくださいとは、思っていないです。子供たちに何も嘘をついて、入れるよ、入れるよ。ごめん、入れなかったっていう思いではないんですけども。

(保護者)　そうですね。学童が入られへんってなったので、もう話はしてま
す。すごい子供自身も悩んで悩んで、ぎりぎりまで、今日までやっ
たら、どっちか決めてもいいみたいな話をしてたんです。やっぱり
学校は、学校のお友達たくさん学童が来るよ、でも、本人が、先生
が大好きで、学童、やっぱり保育園がいいって言ってた中で、保育
園に申し込んだのにもかかわらず、やっぱり学校に行けって言われ
たわけですよ。で、こうやって、一生懸命考えたけど、保育園無理
みたいって言って、とりあえず、保育園が完成したら、行けるかも
しれへんけど、4月からっていうのは、難しいかもしれへんから、
ごめんやけど、学校をとりあえず申し込むよ。

でも、もしかしたら、どこか部屋を借りられたら4月から行ける
かもしれへんし、ほんまそれはちょっと、今、わからへんわってい
う話は、もうしちやってるんで。それをお友達に理解してて、お友
達に言うか、言わへんかはわかんないですけど、それはもう私も子
供に嘘をつけないので、学童、こっちや言うてたのに、違うやんで、
絶対なっちゃうんでね。本人納得させて、それを話したので、親の
希望としても、学校行って、学校の学童が楽しくて、そのまま学校
の学童についていうこともあり得るかもしれないですけど。まあ本人
の意向を汲めば、よそにどこか借りてでも、4月からやってほしい
というのは、私の思いでもあります。

(市)　市といたしましても、この三者協議会というのは、大変重要な場
だと考えておまして、もちろん、今、ここで申し上げていること
というのは、公になっているものと、三者で協議しているものとい
うふうに考えております。

今、園のほうからは、園の姿勢としてはこうだということですよ
で、その辺の解釈ですね。そこは別に否定するもんじゃありませんけ
ど。おっしゃってるように、受け入れないということでもないです
し、園のほうでも、代替案でできないかどうか。実は、保育のほう
もほかの施設を借りてというのも、あり得るのかというところの議
論もしたんですけども、保育施設というのは、施設を認可するも
ので、部屋の大きさですとか、トイレですとかね。そういったとこ
ろで、保育に関しましてはその辺のことでの保育というのは、大変
難しいものなのかなと考えておりますが、学童のほうで検討できる
のであれば、法人さんのほうも、御検討いただいて、今後はですね、
こういう状況ですので、コミュニケーションをとっていただいて、
最新の情報を共有できるようにしていただきたいと思います。

(保護者) すみません。

(市) はい、どうぞ。

(保護者) 建物の話になるんですけど、3月の卒園式のときに、ホールだけでも使えたら、可能だと思うんですけど、そのワンフロアだけを先に使えるようにしてもらって、そこにそのときに入るっていうのは、難しい話でしょうか。

(市) どうですか。

(法人) 手続的には、一部分だけできたから使えますよっていうのは、なかなか非常に難しい状況にあります。その一部分できたところに入ってるときに、建物で火災等起こったときにですね、どう対応できるんだとかそういったいろんなことを検討しないとあきませんので、できたら、そういうこともしたいと思うんですけど、なかなか法的な手続をクリアするのは、難しいですね。はい。

(保護者) すみません。勝手な話かもしれないですけど、新園舎についての外観とか、私たち何も聞いてないと思うんです。中は、図面を見せてもらったと思うんですけど。なので、私、イメージがちょっとその新しい園舎についてのイメージつかないんですけど、そういうのは、発表は、ないんですか。

(法人) それは、もう作っているんですけども。

(法人) 掲示してます。

(保護者) あ、掲示してました。すみません、見てなかったです。

(保護者) すみません。

(市) はい、どうぞ。

(保護者) 卒園式のことなんですけども、中津のコミセンだとか、立命のホールだとかを使う場合、卒園式の練習というのは、どこでやるんですか。

(法人) ここで、考えてます。

(保護者) ここでやって、当日、ぶっつけ本番で、中津のコミセンなり、立命のホールなりで、やるっていうことですか。ここでそのシミュレーションみたいなことだけやって、子供たちが、そのホールに行くのは、当日初めてって、そういう状況になるわけですか。

(法人) そうですね。コミュニティセンターについては、練習日として、お借りできるかと思うんですが、なかなか立命のほうがあいてる日がなくて、この日だけとりあえず、押さえたっていうのが、現状なので、はい。あちらを使うとなったら、そのとき、子供たちが行ってっていう形になると思います。はい。

- (保護者) すみません。卒園式どこでやるにしても、午前中の開催ですか。
- (法 人) 予定はそうです。はい。
- (保護者) その中津のコミセンと、立命のホールは、広さ的には、同じぐらいなんですか。
- (法 人) そうですね。中津のコミセンについては、従来のでんとう中津保育園のホールとほぼ同じ大きさです。立命のほうは、すみません、まだ、実際のお部屋を見てはないので、ただ私どもの人数キャパをお伝えして、可能なスペースってということで、単純に椅子を置いた状況で収容人数は120から140ってということなんですけれども。はい。
- (市) 中津のコミュニティセンターと、立命のホールだったら立命のほうが大きいです。
- (保護者) 仮設の園舎でやるときは、そらとたいようを今みたいな感じで。
- (法 人) そうです。今、まあいろいろロッカーであるとか、布団棚であるとか、いろんなものがありますので、そういったものは、できる限り、ほかに移してっていう形で、考えてはいます。
- (保護者) すみません。
- (市) はい。
- (保護者) 先ほど、山寄さんが、4月1日からの保育園の受け入れの人数とかがあっていうの、あとは、園の努力でっていう、園の努力でっていうふうな表現をされたんです。まあ、ねえ、規定のそれこそねえ、この広さと保育者の人数と、で、受け入れの人数って決まってると思うんです。それ、どこまで切るとかかっていうのは、園が考えて、それでオーバーしてるけれど、いたし方ないっていう判断ですか。
- (市) いえ、園の努力でって言いましたのは、このスペースをまず確保できるのかっていうこと。だから、本市といたしましては、努力で、まず場所、部屋の広さを確保していただけるのであれば、例えば、この部屋の中でもちょっと広目にとっていただいておりますので、その辺は、考慮しながらっていうこと。広さとか、法的に無理をしてということをお園の努力ということではなくて、そういう場所を確保できるのかどうか、この仮園舎の中でということなんです。
- (保護者) 市と園とで話し合いしながら。
- (市) はい。
- (保護者) すみません。卒園式がこの仮園舎か中津のコミセンかフューチャープラザかかっていうのは、中津コミュニティセンターか、フューチャープラザだったら、3月23日の土曜日の予定というふうになる

ってことですね。で、それをどこでするかっていうのを保護者の意見を聞いてくださるということなんですけども、その最終決定はいつごろされるのか。お休みもこの予定でたてたりってということもあるので、早目に言っていたらかないと、この決定してもらわないと、たくさん仕事を持っておられる方はほかにもいらっしゃると思うのでその辺もちょっとはつきりわかれば。

(法 人) はい。

(保護者) 先生、また私ばかりですけど、先ほどのここに申し込んだお母さんたちの気持ちや子供が悩んで、ここに決めたやっぱりだめで、小学校のほう申し込むってなって、入ったとします。で、その後、保育園のほうに簡単に入れますよって言っても、小学校でお友達ができちゃって、すぐにも入れますよっていうふうな形で、また、異動ってなったときの、その子供たちの気持ちとかっていうのは、ちょっとすごい大変なものがあると思いますね。あとは、また、親御さんとその子供さんたちの話し合いになると思うんですけど、こっちにやっぱり来るか、それとも、また、そのまま学童に残るかという選択はすごい負担なので、やっぱり仮にでもどこか場所を借りてっていう努力は、すごいしていただいたほうが、いいのかなと、今、思います。

(市) 園のほうからも説明ありましたように、できるだけそういった方法を検討しながらということで御理解いただけたらと。

(保護者) できることなら市のほうから何か、場所の提案ができないかとか、そういうことはできそうにないんですかね。

(市) そうですね。

(保護者) まあ、難しいかもしれないですけど、公民館のどこかを借りてってということとか。

(市) そうですね。多分、施設も施設の利用者という方がいらっしゃいますし、ただ、まあ、こういう状況ですので、市としてもできることは何かないか、そういうところももちろん、検討しなければいけないと思っております。

よろしいですか。急なお申し出っていうところで、また、今、ご意見ありましたように、もうちょっと卒園式の場所であるとか、今後は保護者の方と共有しながら、園のほうではきちんと意向を汲んで決定したいと。そういったことで、今回は、工事の遅延と、その園の対応ですね、そういったところで、今後のことを含めまして、御理解いただけたということで、よろしいでしょうか。

当然に、懸案事項は残っていると考えてます。それでしたら、また、三者協議会を開いて、お話ができる機会は必要だと思っておりますので。よろしく願いいたします。そこで、合意があつて、すぐできるようであれば、特にその必要はないと思ひますけれども、こういふ状況ですし、一番大事なのは情報共有だと思ひておりますのでその点のご理解をよろしく願いいたします。

ありがとうございました。本日の案件は、全て終了いたしました。これで、本日の三者協議会を閉会させていただきます。本日は長時間にわたり、御協力いただきありがとうございました。

—了—